

# 地方創生事業(地方創生先行型)に係る評価

No.	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	実施内容	担当課名	事業費(円)	評価内容	目標値	実績値	評価及び今後の方針
1	川辺町総合戦略策定事業	平成27年度を初年度とする「川辺町第5次総合計画」を勘案しつつ、産官学金労の代表者で構成する『川辺町総合戦略審議会』を設置して、平成28年2月までに策定をする。	▼外部有識者を含む総合戦略審議会の運営費や事務経費 ▼業務委託料(住民を対象とした意識調査の実施経費など川辺町総合戦略策定支援業務委託料)	企画まちづくり課	151,698 5,605,200				
2	町史・広報誌・議会報電子化事業	町史・広報誌・議会報の制作年度が古いものは、紙媒体のみの保存となっている。今後、経年劣化することも考えられ、永久的に保存するためにも電子化を図る。電子化したデータなどをホームページへ掲載することで、容易に必要な情報を得ることが可能となり、町民の郷土愛をより深めることが期待できる。また、町外閲覧者に対しても速やかに町の歴史と魅力を発信することができる。	【電子化の詳細】 ▼川辺町史 上巻、下巻、通史編の3冊 ▼広報かわべ 昭和34年1月1日発行の第9号から現在までの394誌(※昭和30年～46年は一部欠落あり) ▼議会報 昭和53年5月10日発行の第1号から全号の96会報	企画まちづくり課	312,074	川辺町HP延べアクセス数の向上	5%	2.8%	【評価】 指標値には達しなかったが、大変有効な事業であった。よって、HPにもっとアクセスしてもらう方法を考えること。 【今後の方針】 SNSや町広報誌を使って、もっと広くPRをしていく。
3	未就学児の知育・体力活動の推進及び保育士等の資質向上の推進事業	保育所、乳幼児学級等の未就学児に対して、子どもの健やかな成長を目的とし、年齢に応じた知育・体力活動を行う。 また同時に、保育士等の資質向上のため、かつ、ことばの発達や発育に偏りのある子どもの成長と能力向上を支援するために、保育作業療法士等による発達支援研修を行う。	▼未就学児の知育・体力向上のため、町内3保育所において、英語教室、体操教室、サッカー教室などを講師を招いて開催した。 ▼未就学児を対象とした人形劇の鑑賞会を実施した。 ▼保育士等の資質向上を図るため、講師を招き「発達支援研修」を開催した。	教育委員会	765,000 559,440 985,000	就学前の保護者の保育園満足度	50%以上	73.5%	【評価】 特に無し 【今後の方針】 事業効果が高く、保護者からの満足度が高いため、H28年度も町単独予算で実施する。
4	就学前教育カリキュラム策定事業	就学前の乳幼児期は人間形成の基礎が培われる重要な時期であり、生きる力の基礎、発達や学びの連続性を考慮しながら、0～5歳児に経験させたい内容を明確にした、就学前の教育カリキュラムを策定する。	▼業務委託料(川辺町就学前教育カリキュラム策定支援業務委託料)	教育委員会	1,900,800	就学前の保護者の満足度	50%以上	66%	【評価】 特に無し 【今後の方針】 このカリキュラムに則り、平成29年度から幼保連携型認定子ども園へのスムーズな移行を行う。
5	観光交流推進事業	観光交流人口の拡大を図り、観光産業の振興を目指す。 川辺漕艇場は全国屈指のボートコースであり、大きな観光資源である。2020年東京オリンピック等に向けたボート合宿(他スポーツ・文化含む)の誘致に取り組むため、町内宿泊者に宿泊費の助成を行う。併せて、川辺町の豊かな自然を掲載した観光マップと川辺漕艇場の英語版パンフレットを製作することにより、魅力ある川辺町を外内に発信する。	▼町の魅力をPRするため、「観光おもてなしマップ」を5,000部作成した。	企画まちづくり課	1,188,000	岐阜県川辺漕艇場宿泊者数の増加	10%	49.5%	【評価】 観光おもてなしマップも電子化して、多くの人に見てもらえるようにすると良い。 【今後の方針】 電子化を検討していく。また、人を呼び込む効果が高く、消費喚起も促されるため「合宿等での選手への助成」については、H28年度以降も町単独予算で継続する。
			▼2020東京オリンピック・パラリンピックにおける、合宿誘致のため、「漕艇場パンフレット(英語版)」を2,000部作成した。	企画まちづくり課	103,680				
			▼ボート合宿等で町内宿泊施設を利用する選手等への助成を行った。(1,000円×1,104名) 【助成詳細】 ○漕艇場：604人 ○かつや旅館：500人	教育委員会	1,104,000				
6	湖岸景観整備事業	湖岸遊歩道は両岸にわたり、ボート(漕艇)が間近に見られるという、全国的にも恵まれた、かつ、個性ある景観をもっている。その景観整備をより一層図り、魅力あるまち「ポート王国かわべ」を発信するとともに、2020年東京オリンピックに向けたボート競技の国際大会招致や合宿誘致の優位性を高めるため、湖岸の樹木伐採による景観整備を実施する。	▼湖岸左岸遊歩道の樹木伐採を行った。 【伐採総面積：5,932㎡】 ○伐木：3,512㎡ ○伐竹：2,420㎡	基盤整備課	2,592,000	岐阜県川辺漕艇場利用者数の増加	3%	-2.5%	【評価】 有効な事業であったことは間違いないが、指標値の設定が適切であったとは言えない。目標設定においては熟考すること。 【今後の方針】 湖岸の景観は町の大切な資源であるため、定期的に整備をする必要があると考える。
7	空き家対策推進事業	地域の実情に応じた安全・安心を確保するとともに、喫緊の課題である空き家対策を全地域的、多面的に推進していく。 そのうえで、空き家バンクを設置するとともに利用可能な空き家を掘り起こし、UIJターンなどの移住者の促進を図る。	▼業務委託料(空家情報基礎調査業務委託料)全町にわたり、空家調査を実施した。 【調査棟数：442棟】 ○空家候補：258棟(そのうち危険等の空家165棟) ○空家でない：184棟	基盤整備課	6,696,000	空き家バンク登録件数	10件	0件	【評価】 当初目標であった「空き家バンク制度」の設置まではいかなかったが、町全体の空き家を把握できたことは、非常に有意義である。次年度早期にバンク制度を稼働させること。 【今後の方針】 平成28年9月を目処に「空き家バンク制度」を設置する。
8	乳幼児等防災用品整備事業	これから妊娠、出産をする方や、すでに乳幼児等のいる家庭を対象とした防災ハンドブックを作成し、災害発生時における乳幼児等への栄養管理・衛生管理の整備状況等を周知・充実することで、川辺町の育児・出産に対する安心感を向上させる。これにより、女性の防災意識の高揚を図り、女性防災士の育成、地域防災力の向上に繋げる。	▼川辺町防災ハンドブックを1,000部作成して、乳幼児等のいる世帯を対象として配布した。	総務課	245,160	女性防災士の育成	2名	2名	【評価】 防災ハンドブックも電子化して、多くの人に見てもらえるようにすると良い。 【今後の方針】 「防災士の資格取得に対する補助金制度」を今後も継続して、研修講座への参加を促す。
			▼おむつやほ乳瓶等の備蓄品を購入して各地区の備蓄倉庫に配備した。 【備蓄品購入・配備】 ○紙おむつ：77バック ○ほ乳瓶：100本 など		193,600				
					<b>22,401,652</b>	← うち交付金交付額 22,393,114円			